

社会科 授業実践報告

小単元名 日本とつながりの深い国々

令和6年1月24日(水)第5校時
授業実践 第6学年3組

《本時の目標》

- ・必要な資料や集めた情報をもとに自分で選んだ国の暮らしについて日本の文化や習慣との違いを考え、表現している。(思考・判断・表現)

深い学びポイント

1 つかむ	2 見通す	3 自力	4 協働	5 練り上げ	6 メタ認知
<p>《授業展開の工夫》</p> <p>○本時の課題や自分の学習の成果を学びシートで確認したり振り返ったりする</p> <p>○思考ツールを活用して児童が集めた情報を、日本と関連付けて整理・分析できるようにする</p> <p style="text-align: right;">と、</p>					
<p>《児童の変容》</p> <p>自分の課題や学びの進み具合を意識しながら他の児童と対話したり、読み取ったことを特徴や傾向、相互の関連に注目して整理・分析したりする姿</p> <p style="text-align: right;">が見られ、「深い学び」が実現されるであろう。</p>					

深い学びに到達させる手立て1

「学びシート」を用い、子どもが本時の課題や学習の成果を確認したり振り返ったりする。

学習問題

日本とつながりの深い国々、どのような暮らしをしているのだろう

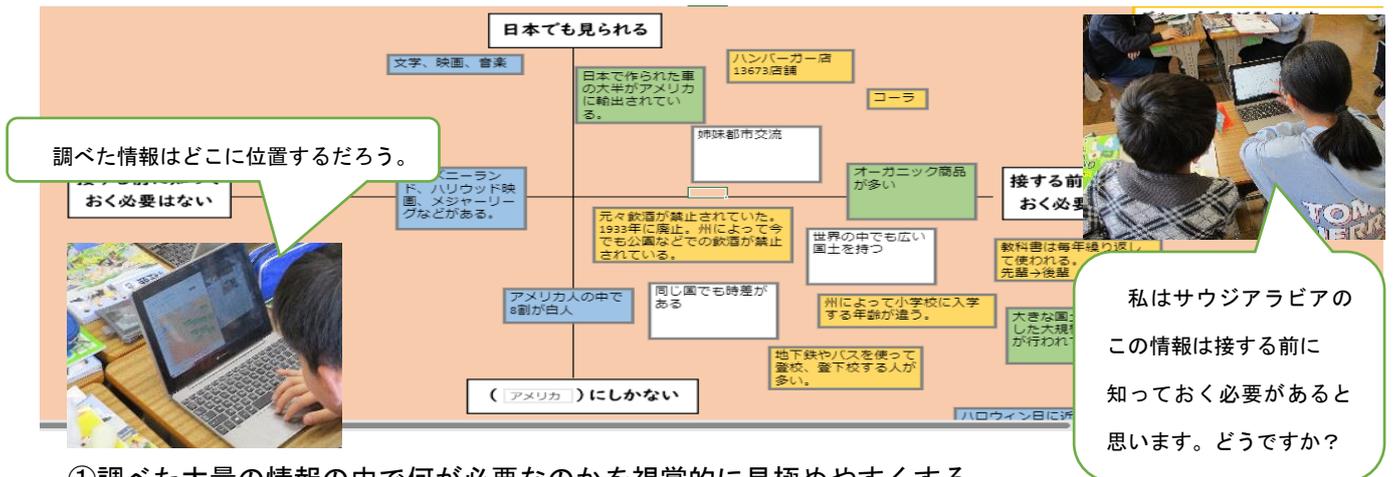
	1	2	3	4	5	6	7
学習課題	韓国をモデルに、何を調べていくかを考えよう。		日本と()にはどのようなつながりがあるだろう。		4ヶ国は日本とどのようなつながりがあるだろう。		外国の人々と共に生きるために、どんなことを大切にしていけばいいだろう。
ミッション	自分の調べた分野を決めよう!		必要な資料や情報を集め、日本とつながりを意識しながら選んだ国について調べてみよう!		レポートを作成しよう!		課題に対して自分の考えをまとめよう!
学習	B…エクセルシートに5個以上の付せんをつくることのできた。	B…自分が調べる分野や何で調べればいいのかの見通しを持つことのできた。	B…基礎情報と、自分の分野についての付せんを5枚以上つくることができた。基礎情報+自分の分野についての付せんを10枚以上つくることができた。思考ツールで整理、分析することのできた。	B…グループで調べた情報を思考ツールで整理・分析することのできた。A…B+思考ツールで理由をもつてふせんについて整理・分析することのできた。S…A+思考ツールに置く場所を、情報となる資料を明確にしなが整理・分析することのできた。	B…レポートを最後まで書ききることができた。A…B+自分が調べた国の特色が分かるように書くことのできた。S…A+日本とのつながりが分かるように書くことのできた。	B…レポートを読み合い、つながりの深い国々の暮らしを知ろう!	B…外国の人々と共に生きるために、どんなことを大切にしていけばいいか考えることのできた。A…どんなことを大切にしていけばいいかを、自分の言葉でまとめることのできた。S…どんなことを大切にしていけばいいかを、情報となる資料(情報)をもとにしながら考えることのできた。
学び			学びシートを確認する。 グループでその国の基礎情報(面口、首都、主な言語)を調べる。 調べた分野について調べ、ふせんに貼る。(余裕のある人は思考ツールで整理・分析をする。)	1 学びシートを確認する。 2 調べ活動の続きをしながら、ふせんを思考ツールで整理・分析する。 3 グループで集めた情報を一枚のPowerPointのシートにまとめる。 4 振り返りする。	1 レポート作りをする。 【はじめ】調べた国の基礎情報 【中】自分の調べた分野について 【終わり】その国と日本とのつながりについて 2 振り返りする。	1 学びシートを確認する。 2 レポートを読み合い他の国の特色を表にまとめる。 3 振り返りする。	1 外国との文化の違いによってのトラブルを知る。 2 学びシートを確認する。 3 課題に対しての自分の考えをワークシートに書く。 4 全体共有後、単元のまとめとして自分の考えを書く。
振り返り①			自分の分野について調べることができたか?	もう少し	レポートは完成しましたか?	できた	他の国々の暮らしを知ることができましたか?
振り返り②	ゴールの達成度	A	ゴールの達成度	A	ゴールの達成度	A	ゴールの達成度

今日は色々な分野の情報を調べられたからAだな！
次の時間は何を頑張ろう？

本時の課題・自分のゴール・学習の流れ・振り返りを1枚のシートにまとめた学びシートを作成した。授業の中で学習のゴールや本時の課題などの見通しをもって学習を進めたり、学び方を振り返って次の学習につなげられたりすることができるようにした。

深い学びに到達させる手立て 2

思考ツールを活用し、情報を整理・分析する。



- ①調べた大量の情報の中で何が必要なかを視覚的に見極めやすくする。
- ②子どもたちが主体的に情報の整理・分析をするために、「日本にある/その国にしかない」「接する前に理解する必要がある/必要がない」という視点を設定する。

この2つの工夫を盛り込んだ思考ツールを活用することで、社会的な見方・考え方を意識しながら主体的に活動することができるようにした。

深い学びに到達した姿

思考ツールの活用によって、児童の対話の中に根拠や既習の内容や、情報と情報の相互の関連を意識した発言が増え、より主体的に社会的な見方・考え方を働かせながら情報の整理・分析を進めることができた。また、学びシートを用いることで自分の学び方を意識し、必要に応じた資料の選択や、目的を意識した話し合いをする姿が見られた。

指導講評

さいたま市教育委員会指導1課 指導主事 青木 翔 先生

- 「学びシート」によって児童が学習課題を把握し、その解決への見通しをもつことができ、
「主体的な学び」の実現に資するものであった。
- 調べた情報を単純に分類するのではなく、座標軸を思考ツールとして活用しながら考えることができ、
「社会的な見方・考え方」を働かせた「深い学び」に到達する姿が見られた。
- 小グループ内で見られた児童の発言を活動の展開中にクラス全体で共有することによって、
学習活動の目的や方向性を子どもたちと確認し直すことができ、その後の活動が活発になった。
- クラウド上の情報の管理やExcelシート上での色分けされた付箋の活用など、保存性・視認性・
可変性といったアナログに比したデジタルのよさを生かすことができていた。

成果と課題

- ◎ 資料を精選することで、教科書、地図帳、図書資料、インターネットから子どもたちがいずれかのものに必要に応じた最適なものを選んで調べ学習を進めることができた。
- ◎ 学びシートで子どもたちがその時間の目標を決めることで、見通しをもって主体的に活動に取り組むことができた。
- ◎ 思考ツールを用いることで、多くの情報を社会的な見方・考え方を働かせながら整理・分析することができた。また、ICTを活用することによって教員も児童も情報を管理しやすくなった。
- △ 情報の相互関係まで捉えることは難しかった。
- △ ねらいや付けたい力を考えると、思考ツールの形や文言についてはさらに検討の余地があった。